

人生会議

ACP

(Advance Care Planning)

聞いたことありますか？

“もしも”のときに備えて、

「あなたの大切にしていることや望み」「どのような医療や介護を望んでいるか」



自分自身で考え、あなたの信頼する人たちと話し合うことを
人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）といいます。

身体が元気なうちから考えておくことが大事

迷ってもいい！
決められないことがあってもいい！
あとで変わってもいい！

自分が自分らしく生きていくために、みんなで考えよう！

わたしはどうしたいだろう？
わたしの大切な人はそのときどうしたいんだろう？
親はどうしたいって言うかな・・・？

その都度話し合う
ことが大切

前もって相談することが大切な理由

- *もしものときにあなたの考えに沿った治療や介護を受けられる可能性が高いと言われています。
- *あなたの思いを代弁する信頼する人の心の負担を減らすこととなります。

住み慣れた自宅で最期まで～実際に母親を自宅で看取ったお話し～

長男夫婦と3人暮らし



花子さん



長男夫婦

高齢な花子さんには、訪問診療と訪問リハビリを受けていました。

少しずつ食が細くなる母親に長男夫婦は不安を感じるようになりました。
長男夫婦の不安を感じたケアマネジャーは、花子さんや長男夫婦の気持ちを
確認する場を設定しました。

(参加者：花子さん、長男夫婦、ケアマネジャー、医師、リハビリスタッフ)



医師



ケアマネジャー

リハビリ
スタッフ

+



訪問看護師



ホームヘルパー

「入院はしたくない、家がいい」と花子さんの気持ちははっきりしていました。
その言葉を聞いた長男夫婦は**自宅で看取る覚悟**を決めました。

状態の変化に伴い、訪問看護とホームヘルパーが加わりました。

花子さんをご家族に囲まれ、穏やかな最期をむかえました。



母親を自宅で看取った長男夫婦より

在宅療養生活を支えてくれた方たちがいたから本人の思いを叶えられる
ことができた。本人の気持ちを聞いて良かったと話してくださいまし
た。